

## 地域企業をテーマとした大学合同の地域科目を開講しました（COC+事業）

地域戦略研究所では、8月29日（月）から9月2日（金）までの5日間、小倉駅ビルの本学サテライトキャンパスを会場に、関門地域の5大学（北九州市立大学・九州共立大学・九州国際大学・西日本工業大学・下関市立大学）で構成される「大学コンソーシアム関門」の開講科目のひとつとして「北九州・下関地域の魅力ある企業を知る」を開講しました。本科目は、北九州・下関地域の様々な業種の企業関係者を講師に招き、同地域の企業や産業の特性について話を伺うもので、今年度は、同コンソーシアムに参画する5大学より約40名の学生が履修しました。受講生は、5日間で計14社の企業関係者から、自社の強み、独創性、沿革、将来展望などをはじめ、自社や業界を取り巻く環境、地域社会との関わりなどについて学び、本地域の企業・産業に対する理解を深めることができました。ご協力いただきました企業関係者の皆様、ありがとうございました。 [担当：内田教授、田中特任准教授、就職支援室 COC+担当係]

### ■登壇企業（敬称略）

8/29（月）：	（株）三井ハイテック、	（株）スターフライヤー、	（株）不動産中央情報センター
8/30（火）：	極東ファディ（株）、	（株）みずほ銀行、	（株）ゼンリン
8/31（水）：	（公財）健和会、	（株）安川電機、	（株）リーガロイヤルホテル小倉
9/1（木）：	（株）サンキュードラッグ、	福岡ひびき信用金庫、	シャボン玉石けん（株）
9/2（金）：	（株）タカギ、	（株）井筒屋	



## COC+事業を契機とした“地域科目”

### 「地域の文化と歴史」「地域の社会と経済」を2学期から開講しています

北九州市立大学では、COC+事業の実施を契機とし、教養教育科目として新たに“地域科目”を選択必修科目として2016年度から開講しました。この科目は、学生自身の学習・生活の地である北九州・下関地域の文化、歴史、経済、産業等に関する授業で構成し、学生自らがこの地の魅力を知り、キャリア形成について考えることを目的としています。

地域科目（選択必修）は6つの授業で構成し、いずれも地域戦略研究所が提供する授業となっています。このうち1年次配当の「地域の文化と歴史」（履修者500名）と「地域の社会と経済」（履修者256名）について、10月から始まった2学期に開講しています。[担当：南教授、宮下准教授ほか]

表 北九州市立大学の地域科目（選択必修6科目。地域戦略研究所提供）

2016年度から開講	地域の文化と歴史 [南]、地域の社会と経済 [宮下]
2017年度から開講	地域のにぎわいづくり [南]、北九州市の都市政策 [内田]、まなびと企業研究Ⅰ [田中]
2018年度から開講	まなびと企業研究Ⅱ [田中]

※ [] 内は担当教員（予定を含む）



「地域の文化と歴史」第1回授業風景（10月7日）



「地域の社会と経済」第1回授業風景（10月7日）

# 北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>

## 仁川発展研究院(大韓民国)との共同研究報告会を開催

地域戦略研究所では 2006 年に締結した仁川発展研究院(大韓民国・仁川広域市)との研究交流協定に基づき、隔年で相互訪問して共同研究報告会を開催しています。本年度は内田副所長以下 4 名が 8/30~9/1 の 3 日間、仁川市を訪問しました。8/31 午後開催された共同研究発表会では、地方財政、障害者スポーツをテーマに 4 題の発表が行われ、活発な議論が行われました。

### 【報告タイトル】

1. 財政公平性強化のための調整交付金制度改善方案研究(崔泰林・研究委員)  
[仁川発展研究院]
2. 北九州市の財政効率化に関する研究(宮下量久准教授)[北九州市立大学]
3. 仁川広域市の障害者活動支援サービス機関の評価方法の研究(李龍甲・研究委員)  
[仁川発展研究院]
4. 北九州市の障害者のレクリエーションやスポーツに関する研究(深谷裕准教授)[北九州市立大学]

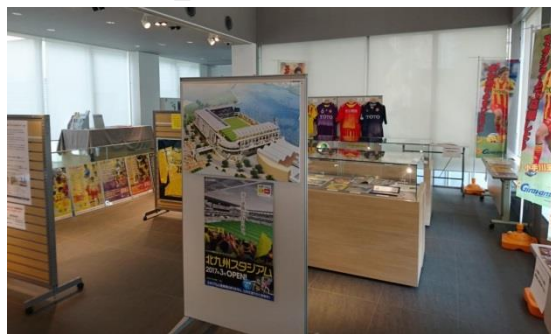
また訪問中、仁川市の沿岸部に開発が進められている松島新都市(計画人口:25万人)の Incheon Global Campus(現時点で海外4大学が進出)や新都市のインフラ、交通、防犯などを統括管理する IFEZ Global Center、ノートルダム障害者福祉施設などを視察させていただき、仁川市の凄まじい発展を感じることができました。来年度は北九州市で開催される予定です。 [担当:内田教授ほか]



## 「地域戦略研究所ギラヴァンツ北九州アーカイブ展」に735人ご来場

地域戦略研究所は、2008年度から北九州市をホームタウンとするプロサッカークラブ・ギラヴァンツ北九州に関し、クラブの社会的・経済的効果やスタジアム観戦者調査、市民意識調査など様々な調査研究を行っています。また2014年3月に「ギラヴァンツ北九州アーカイブ」を研究所資料室内に開設し、ギラヴァンツ北九州や2017年春供用開始の北九州スタジアムに関する様々な書籍・資料等を収蔵しています。

その収蔵物の一部を本学関係者や市民により広くご覧いただくこと及び北九州におけるスポーツツーリズムの推進を目的として、本年4月に新設された本学図書館ギャラリーにおいて「北九州市立大学地域戦略研究所ギラヴァンツ北九州アーカイブ企画展」を本年7/9から8/5までの約1ヶ月間開催しました。期間中のべ735人もの方々に閲覧いただき、また閲覧いただいた市民から新たな資料提供をいただくなど研究の推進にも役立つこととなりました。参加・協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。 [担当:南教授]



←7月にギラヴァンツと対戦した松本山雅FCのホームタウン:塩尻市立図書館との交換展示の様子(両館で相互のクラブグッズや観光パンフレット等を展示・配布し、スポーツツーリズムを促進)



# 地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

## 【2016年7月～9月】

### リサーチコンプレックス先進地調査(フィンランド、ドイツ) [吉村英俊教授]

北九州地域の研究開発拠点機能の強化を図るため、フィンランドのオウルとドイツのドルトムントを訪問してきました(7月3日～9日)。携帯電話のNOKIAで有名なオウルは、人口15万人の小都市でありながら、大学・研究所・企業・市役所・市民が連携し、EU及び国から資金を得て、環境等の分野にかかわる大規模な社会実験を展開しています。一方、サッカーで有名なドルトムントはかつての石炭・製鉄産業が衰退し、製鉄所の遊休地を活用してテクノロジーパークや市民の憩いの場を整備し、新たな産業や豊かなQOLの創出を図っています。いずれの地域も本市の産業振興策を検討する上で参考になるものであり、調査を続けていきたいと思えます。

### カンボジア及びベトナムで「中古建設機械」の市場調査を実施 [吉村英俊教授]

北九州市の姉妹都市であるカンボジア・プノンペン及びベトナム・ハイフォンは経済成長が著しく、「建設ラッシュ」という言葉がまさにピッタリの街です。そこで9月下旬から、北九州地域の企業と両市を訪問して市場調査を行ってきました。その結果、日本製の建設機械は中古品であったとしても、中国製などの新品の建設機械よりも性能が良く、故障しないことから大変人気があることが分かりました。一方、中古品の輸出にあたっては、規制や支払条件などクリアしなければならない課題があることも分かりました。多くの北九州地域の企業が、海外に新たな市場を開拓できるように、姉妹都市による都市間連携の枠組みを活用して、今後ともサポートしていきたいと思えます。



カンボジアの労働省でのヒアリング調査

### 福祉関連の大型受託案件を実施中 [深谷裕准教授]

地方公共団体から障害児・者の生活実態やサービス利用状況等に関する調査業務を受託し、9月から調査に取り組んでいます。

### その他の主な活動記録 ※各項目ごとに主担当教員等(□表記)の五十音順に列挙

#### ■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等(抜粋)

- リサーチコンプレックス先進地調査(7/3～7/9:フィンランド・オウル、ドイツ・ドルトムント)[吉村] ※p.2ご参照
- 北九州市立大学地域戦略研究所ギラヴァンツ北九州アーカイブ企画展(7/9～8/5:北九州市立大学図書館ギャラリー)[南] ※p.1ご参照
- Jリーグ公式スタジアム観戦者調査(7/31:北九州市立本城陸上競技場)[南]
- 仁川発展研究院(大韓民国)との共同研究発表会(8/30～9/1:大韓民国仁川広域市)[内田、深谷、宮下] ※p.1ご参照
- プノンペンとの交流可能性調査(9/25～10/1:カンボジア・プノンペン)[吉村]



ギラヴァンツ北九州の試合でのスタジアム観戦者調査(受託研究)[南]

#### ■講演等

- 北九州市立年長者研修大学校穴生学舎「ベトナム事情」(7/20)[吉村]
- 第5回フットパス大学(7/23～24:福岡県中間市)[内田]
- 第6回フットパス大学(7/22～23:北海道釧路市)[内田]
- 日本防火・危機管理促進協会「平成28年度第2回:地方公共団体の危機管理に関する研究会」(7/29:大阪市)[南]
- みやこ町勝山地区グループ意見交換会(8/6:福岡県みやこ町)[内田]
- みやこ町豊津地区グループ意見交換会(8/7:福岡県みやこ町)[内田]
- ラグビー 北九州市にキャンプ地誘致を成功させる会(8/25)[南]



北九州市立年長者研修大学校での講演[吉村]

(続き)

- 田川飛翔塾 (8/26: 福岡県添田町) [内田]
- 日本計画行政学会全国大会ワークショップ「瀬戸内海の未来展望と戦略: 多様性の展開と価値の創造」(9/10: 兵庫県西宮市) [南]
- 日本防火・危機管理促進協会「平成 28 年度第 3 回: 地方公共団体の危機管理に関する研究会」(9/13: 仙台市) [南]
- 第 4 回まちなみフォーラム福岡 in 津屋崎千軒 (9/17: 福岡県福津市) [内田]
- 第 7 回フットパス大学 (9/29~30: 熊本県天草市) [内田]



日本防火・危機管理促進協会  
(会場: 大阪市) での講演 [南]

### ■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会 (開催された主なものを抜粋)

- 北九州市都市計画審議会 (委員長) [柳井]
- 北九州市水道事業検討会 (座長) [柳井]
- 北九州市公共事業評価検討会議 (座長) [柳井]
- 西日本産業貿易コンベンション協会評議員会 (議長) [柳井]
- 宗像市行政不服審査会 [南]
- 日田市行政改革推進委員会 [南]
- 水巻町公共施設総合管理計画審議会 (会長) [宮下]
- 芦屋町公共施設等総合管理計画策定委員会 (会長) [宮下]
- 岡垣町まち・ひと・しごと創生審議会 (会長) [宮下]

### ■報道

- 西日本新聞、2016 年 7 月 3 日、北九州面「災害への備え 避難所 運営主体は官から民へ」[南]
- 西日本新聞、2016 年 7 月 13 日、北九州面「消費税 10% 反対 7 割弱 北九大が市民 1038 人アンケート」[宮下]
- 毎日新聞、2016 年 7 月 14 日、北九州面「ギラヴァンツの収蔵資料を展示 北九大図書館で」[南]
- J:COM 北九州、2016 年 7 月 27 日、『ニュース 55 北九州』「地域戦略研究所ギラヴァンツ北九州アーカイブ企画展」[南]
- J:COM 北九州、2016 年 7 月 29 日、『デイリーニュース』「ギラヴァンツ北九州アーカイブ企画展 (北九州市立大学)」[南]
- 西日本新聞、2016 年 7 月 30 日、北九州面「ギラ関連資料 80 点展示 来月 5 日まで 北九大図書館」[南]
- 西日本新聞、2016 年 8 月 29 日、北九州面「防災行事参加 1 割強 北九州市民 全国より 30 ポイント低く」[南]
- 朝日新聞、2016 年 9 月 4 日、書評面「『平成の大合併』の政治経済学」[宮下]



西日本新聞 8/29 付記事  
での研究成果掲載 [南]

## トピックス

### 10 月から兼任所員を 5 名へ増員

地域戦略研究所の教員は、所長、専任所員 (7 名)、兼任所員、特任教員で構成しています。2016 年 10 月 1 日に坂本毅啓准教授 (基盤教育センター)、寺田千栄子講師 (同) が兼任所員として加わり、兼任所員は計 5 名となりました。

坂本准教授、寺田講師は、本研究所と下関市立大学附属地域共創センターで実施している関門地域共同研究の平成 28 年度研究「政令市及び中核市における子どもの貧困に対する自治体施策に関する研究—先進事例をもとに北九州市と下関市の課題を明らかにする—」に取り組みます。



寺田 柳井 坂本  
講師 副学長・所長 准教授

#### 北九州市立大学 地域戦略研究所 兼任所員一覧 (2016 年 10 月現在)

氏名、所属	専門分野等	就任
浦野 恭平 経済学部教授	経営戦略論	2015 年 11 月
田代 洋久 法学部教授	都市・地域政策、地域づくり、地域マネジメント、文化創造	2015 年 11 月
松永 裕己 マネジメント研究科教授	環境ビジネス・ソーシャルビジネスに関する経済地理学的研究	2015 年 11 月
坂本 毅啓 基盤教育センター准教授	社会福祉学、社会保障、福祉専門職教育	2016 年 10 月
寺田 千栄子 基盤教育センター講師	社会福祉学、児童福祉、学校ソーシャルワーク	2016 年 10 月